

図書名 学年ビリのギャルが1年で偏差値を上げて慶應大学に現役合格した話 著者名 坪田 信貴 出版社 KADOKAWA

本書はテレビなどで話題となった実際の話である。この本の主人公となるさやかちゃんは世の中で言うギャルだ。た。家庭の状況はあまり良いとは言えず、勉強ではクラスビリで、学校の先生からも目をつけられているような子だった。そのさやかちゃんが日本の難関私立大学である慶應大学に合格という、普通では考えられないことを成し遂げる。その偉業を成し遂げるのには1人の先生との出会いが関わっている。その先生こそがこの本の著者である坪田信貴さんである。この先生との出会いがきっかけで毎日夜中まで遊び歩いていたさやかちゃんもだんだん学ぶことに楽しさを感じ、1日受験勉強をするような生活を送るようになる。しかし、このようにさやかちゃんが勉強に集中できたのは母のあーちゃんの存在が大きかった。あーちゃんには過去から得た考えがあった。周囲の人から「子どもを甘やかしすぎ」や「親バカ」など様々な批判を受けたが、自分の真念を貫き、さ

やかちゃんを支えた。このような支えもあり、さやかちゃんは慶應大学に現役で合格する。また、さやかちゃんの頑張りが家族にも影響を与え、家族の関係も徐々に良くなる。私はこの本を読む前は、さやかちゃんはもともと才能があっただけだと思っていた。しかし、読み進めていくうちに、素直に人の話に耳を傾けること。とりあえずやってみていろいろな事に関心を持つこと。様々な事を吸収しようとする姿勢が合格へ繋がり、周囲の人に影響を与えたのだと思う。また、あーちゃんの娘に対する愛情とその愛情に応えようと頑張ったさやかちゃんがとても印象的だった。学歴の有無ではなく人としての有り方や人間性について考えるいい機会になったと思う。家庭や人間関係で悩んでいる人は多いと思う。そのような人にも是非読んでほしい。何か考え方が変わるきっかけになるかもしれない。